

意匠五庁 (ID5) 会合を通じた国際連携の強化について

資料3

- ◆日米欧中韓の意匠五庁が意匠分野における国際的な協力を推進するための枠組みとして、平成27年に意匠五庁 (ID5) 会合を創設。
- ◆平成28年11月の第2回年次会合では、今後五庁が取り組む12の協力プロジェクトを決定し、意匠分野における主要国間の国際協力が本格化。

意匠五庁
(ID5)



日本国特許庁
(JPO)



米国特許商標庁
(USPTO)



欧州連合知的財産庁
(EUIPO)



中国国家知識産権局
(SIPO)



韓国特許庁
(KIPO)

第2回会合の主な成果:

- 意匠五庁が目指すべき協力の方向性を示す「2016 ID5共同声明」を採択
- 12のID5協力プロジェクトを承認
 - ✓ JPOは、「意匠分類」、「グレースピリオド」、「部分意匠」、「意匠統計」の4プロジェクトをリード
 - ✓ 「優先権書類の電子的交換」、「優先権の実務」、「図面要件」、「保護要件」比較等プロジェクトも実施
- ID5仮設ウェブサイト(<http://www.id-5.org/>)を設置



意匠五庁(ID5)会合を通じた国際連携の強化について

資料3

ID5協カプロジェクト一覧

種別	プロジェクト名	プロジェクト概要	リード庁
各庁の制度、審査実務の比較研究に関するプロジェクト	意匠の保護要件に関するカタログ	五庁の意匠の登録要件・特許性要件等に関する比較研究及びカタログの作成	KIPO
	ID5による優先権の実務に関する研究	優先権制度及び実務に関する五庁の法令及び実務の比較研究	SIPO
	意匠の図面要件に関するカタログ	五庁の意匠の図形表現に関する法令及び実務の比較研究及びカタログの作成・更新	EUIPO
	意匠分類に関する協定および実務に関する研究	五庁の意匠分類体系及びその運用等に関する比較研究	JPO KIPO
	製品表示に関する実務の比較研究	製品表示(物品名)に関する法令及び実務の比較研究	EUIPO
	意匠出願へのグレースピリオドの適用に関する比較研究	意匠のグレースピリオドに関する五庁の法令及び実務の比較研究	JPO USPTO
	意匠イノベーションのための効果的な保護手段としての部分意匠の比較研究	部分意匠制度に関する五庁の法令及び実務の比較研究	JPO USPTO
	新しい技術の意匠の保護に関する実務の研究	新しい技術の意匠の保護に関する五庁の法令及び実務の比較研究	EUIPO USPTO
情報技術/統計情報に関するプロジェクト	意匠統計の取りまとめ	五庁共通の統計指標に基づく統計データの定期的交換及びユーザーへの公開	JPO
	ID5ウェブサイトの開発および維持	五庁間とユーザーで意匠制度や主な施策、各プロジェクトの内容や進捗状況等を共有するためのウェブサイトの開発・維持	KIPO
	ID5庁による優先権書類の交換に関する研究	優先権書類の電子的交換に関する仕組みであるWIPOのDAS(Digital Access Service)等の各庁における導入可能性調査	SIPO USPTO
	潜在的な経済要因及び各知財庁の施策がグローバルな意匠出願に与える影響の分析	潜在的経済要因および知財庁の施策に基づく出願件数予測手法の比較研究と出願予測ツールの開発	EUIPO